



2022年7月24日(日)

日本百名山・赤城山(駒ヶ岳～黒檜山縦走)

赤城山の最高峰を縦走する赤城山のトレッキングコースの中でも最も人気があるコース。

下山後は時間があればパワースポットで有名な赤城神社、小尾瀬と呼ばれる覚満淵もご案内します。

赤城山は、榛名山、妙義山と並び、上毛三山の一つとして数えられており、日本百名山の一つにも選ばれています。今回のコースでは、複数の火山からなる赤城の中でも外輪山の駒ヶ岳から最高峰の黒檜山までを歩きます。黒檜山展望台からは、北西から北東の展望が開け、燧ヶ岳、日光白根山、皇海山、男体山、谷川岳などの山並が広がります。駒ヶ岳～黒檜山へは、なだらかな稜線歩きで小沼や関東平野方面の展望が良く、好天なら富士山や南アルプスまで見渡すことができます。下山後はパワースポットの赤城神社へ立ち寄ります。ザック型の登山お守りも人気です。

アクセス

■公共交通機関(各地より JR 前橋駅へ)

東京から：上越新幹線→JR 高崎駅(上越線)→JR 前橋駅 前橋駅- (関越交通バス直通バス) -赤城山ビジターセンター 約90分※公共交通機関の時刻・料金に関しては、必ず各自で最新の情報をご確認の上ご利用ください。

■お車で

関越自動車道赤城 IC から県道4号線を赤城方面へ約50km約60分。赤城公園ビジターセンター駐車場(100台)

【開催日】 2022年7月24日(日)

【開催地】 赤城山・黒檜山 赤城山 標高：1,828m 所在地：群馬県

【ガイド】 小坂橋 結子(公益社団法人 山岳ガイド協会認定 登山ガイド)

【集合】 赤城公園ビジターセンター 【解散】 赤城公園ビジターセンター

【日程】 赤城公園ビジターセンター(11:00 集合)・・・駒ヶ岳登山口・・・駒ヶ岳・・・黒檜山・・・黒檜山登山口・赤城公園ビジターセンター(16:30 頃解散) < 歩行時間：約4時間 >

【参加費】 8,500円 当日現金にてお願いします。

(金額の中に含むもの：ガイド料、協力金。金額の中に含まないもの：集合場所までの交通費、食事代、保険代)

【レベル】 山歩きが初めての方でもご参加いただけます。

【定員】 10名(最小催行5名) 定員になり次第締切(先着順)

【締切】 7/17(日)

【申込】 LINEID ([bluepoppy618](https://line.me/ti/p/nHNVe8XNc9))または <https://line.me/ti/p/nHNVe8XNc9>

(ガイド)へ直接申込みください。

その際に「氏名、生年月日(年齢)、住所、緊急連絡先(氏名(関係、TEL))」をお知らせください。

※申込後グループLINEへ招待します。

参考装備リスト

| | | | |
|-------|----------------------------|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 用具 | 登山靴 | ◎ | 足首まで保護できるトレッキングブーツ |
| | バックパック | ◎ | 25ℓ～30ℓ程度のも |
| | レインカバー | ○ | バックパックのサイズに合ったもの |
| | トレッキングポール | △ | 先端保護のプロテクターも忘れずに |
| | スパッツ (ゲイター) | △ | 夏用の軽量の防水性のもの |
| | サンダル | ○ | 山小屋滞在時に小屋周辺を散策される際などにあると便利です |
| 服装 | アンダーウェア | ◎ | 化繊やウールなど吸水速乾性のインナー・肌着・タイツ |
| | 靴下 | ◎ | ウールなど保温性とクッション性の高いもの |
| | シャツ・ズボン | ◎ | 化繊やウールなど吸水速乾性のシャツやズボン |
| | 防寒着 | ◎ | 朝晩は冷え込むためフリースジャケット&フリースパンツ、ダウンジャケット&ダウンパンツなど |
| | レインウェア | ◎ | 防水透湿性でセパレートタイプのもの |
| | グローブ | ○ | 防寒性のある薄手の手袋 |
| | 帽子 | ○ | ハットやキャップ、ニットなど |
| | サングラス | ◎ | ※コロナ対策としてもメガネまたはサングラスなどのアイウェアが必携です |
| 水分・食料 | 水筒 | ◎ | 1ℓ以上の携帯性の高いもの (ハイドレーションが便利でおすすめです) |
| | サーモボトル | ○ | 温かい飲み物を入れる保温水筒 |
| | 行動食 | ○ | ナッツ類、シリアルバー、ようかん、チョコレート、アメなど |
| | 昼食 | ◎ | オニギリやパンなど調理しなくてよいもの |
| その他 | ヘッドランプ | ◎ | 山小屋宿泊時の他、行動中での万一の緊急時に備えて |
| | 替え電池 | ○ | ヘッドランプ用 |
| | コンパス | △ | オリエンテーリングに適した SUUNTO社、SILVA 社などのベースプレートコンパスがおすすめ |
| | 地図 | △ | 該当エリアの「1/25000 地形図」や昭文社の「山と高原地図」など |
| | マップケース | △ | 講習当日が雨天予報の場合、マップケースや大きめのジップロックなど |
| | シーツ (薄手のシュラフやインナーシーツなど) | ◎ | 山小屋のコロナ対策のため就寝時には山小屋の寝具のなかで、お客様各自ご自身のシュラフインナーなどを併用して頂く必要があります。 |
| | 手拭いまたは タオル | ◎ | 山小屋のコロナ対策のため就寝時にはお客様各自ご自身の手拭いまたはタオルを枕カバーとして使用して頂く必要があります。(※枕カバー用の他、布団の襟元のカバーのためにも2枚はお持ち頂くことをおすすめいたします) |
| | 保険証 | ○ | 万一の緊急時に備えて (コピーでも可) |
| | ファーストエイドキット | ○ | 絆創膏、テーピング、常備薬など |
| | 大き目のジップロック | ◎ | ごみ袋用 (コロナ対策のためにも山小屋宿泊時に出たご自身のごみは、全てお持ち帰り頂きますようご協力をお願いいたします) |
| | 洗面用具類 | ○ | 歯ブラシ、ウェットティッシュ、トイレトペーパーなど |
| | お風呂セット&着替え | ○ | 下山後の温泉用にお風呂セットや着替えなど (※登山時はスタッフバッグなどに入れバス車内に置いておくことが可能です) |
| | 日焼け止め | ○ | 日焼け止めクリームその他、リップクリームなどもあると便利です |
| | コロナ対策グッズ | ◎ | 携帯トイレ、体温計、使い捨て手袋 (ゴム製等)、マスク数枚、手指除菌ジェル |

◎: 必携 ○: あった方がよい △: なくても困りませんがあった方が便利

